

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関情報

評価機関名：	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
訪問調査実施期間：	平成25年 8月27日 (火)

②事業者情報

名称：	社会福祉法人 米子福祉会 福生保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	理事長 岸岡 和男	定員（利用人数）：	120名（142名）
所在地：	鳥取県米子市上福原2-2-1	TEL	0859-33-5707

③総 評

◇特に評価の高い点

1. 職場環境について
相談体制の整備や有給休暇取得の促進など働きやすい職場作りに取り組まれています。開園後初めて第三者評価を受審し、社会的責任、信頼をキーワードに保育サービスの質向上を目指す法人と園長の姿勢がうかがえます。
2. 地域との交流と連携について
地域の老人会や小中学校など地域と保育所との相互交流、お話しキャラバン隊や講演会の実施など、保護者が安心して子育てができるよう地域の子育て拠点としての機能を発揮しておられます。

◇改善を求められる点

1. 中・長期計画の策定について
理念や基本方針の実現に向けて現状分析を行い、施設経営や職員の能力開発・育成などを盛り込んだ中・長期計画の策定が望まれます。
2. 職員の資質向上に向けた取り組みについて
人材の能力開発・育成の視点で、客観的な基準に基づいた人事考課を実施するとともに、人材育成計画に基づく個別職員の研修計画の実施が望まれます。
3. 外部監査の実施に向けて
客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査に取り組まれることが望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審し、当法人の不足している部分、改善すべき点が明確になりました。中・長期計画について、今までは分野ごとに作成しておりましたが、ご指摘をいただいたことで、総合的な中・長期計画の必要性を感じました。外部監査、人事考課につきましては、導入に向け取り組みを進め、その他の項目につきましても、今後の改善につなげてまいります。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（53項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	○a・b・c	①法人の保育理念は法人の全保育所園長会で検討し、「笑顔に出来る保育園、保護者と地域とともに」として平成18年に明文化しておられます。 ②理念に基づく基本方針は、保育サービスの特性を踏まえ、家庭・地域連携をもとに、子どもの視点を大切に4つの柱で構成、職員の行動規範にしておられます。理念・基本方針は、玄関に掲示されるとともに、入園のしおり、パンフレット、ホームページ、事業計画などに記載しておられます。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	○a・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	○a・b・c	①職員周知は、年度当初の全体職員会議で資料配布し分かりやすく説明しておられます。併せて年2回の自己評価の項目に掲載して取り組みの周知と確認が行われ継続した取り組みにしておられます。 ②利用者等への周知は、保護者総会で入園のしおりで説明を行い、欠席者には個別に資料を送付するなど、周知徹底が図られています。また、4月の園だよりに掲載して地域への周知が図られています。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	○a・b・c	

Ⅰ-2 事業計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・b・○c	①中・長期計画は策定しておられません。今後、法人本部との連携をもとに中・長期計画の策定を予定しておられます。 ②単年度ごとの事業計画を作成しておられますが、中・長期計画が未策定で内容が反映したのとなっておりません。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・○c	
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	○a・b・c	①理念に基づき、事業計画は、昨年度実施した事業の評価をもとに、全職員の意見を踏まえ組織的に策定しておられます。また、年度途中でも定期的に評価を行っておられます。 ②事業計画は、年度当初の全体職員会議で全職員に配布して周知を図るとともに、自己評価を行うなど継続的な取り組みが行われています。 ③保護者への事業計画の周知は、年度当初に年間行事予定を配布するに留まっており、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫が求められます。
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	○a・b・c	
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a・○b・c	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a · b · c	①園長の役割と責任については、年度初めの全職員の全体職員会議で、組織図、業務分担表を配布し、表明しております。災害時においても同様に園長の役割を明文化しております。 ②園長は、法令遵守や人権に関する研修・会議に参加し、職員会議で周知しております。遵守すべき法令などのリスト化を行い職員が出入りしやすい事務室に備え付け、職員への周知に取り組んでおります。
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a · b · c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a · b · c	①園長は、保育の現状、課題の分析を継続的に行い、改善点を職員に投げかけ、意見を取り入れ改善されていますが、組織としての仕組みづくりが求められます。 ②園長は、理念や保育方針の実現に向けて人員配置、職員の働きやすい環境整備など、改善に取り組んでおります。また、法人本部との連携をもとに研修や検討会議に参加し、経営状況やコストバランスの分析に取り組んでおります。
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a · b · c	

評価対象 II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a · b · c	①法人として全国社会福祉施設経営者協議会や全国保育協議会などから国の情報を、地域の状況は公民館運営協議会や市のHPなどから情報を収集しておりますが、中・長期計画を作成し、事業計画への反映が行われていません。 ②法人本部と連携を取りながら、園長会・園長補佐会・中堅職員研修会などで分析・検討を重ね、毎月の職員会議において報告・検討が行われています。 ③外部監査は実施されていません。客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査に取り組まることが望まれます。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a · b · c	
II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	a · b · c	

II-2 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a · b · c	①法人本部としてのプランはあります。園としても法人本部と連携して必要な人材や人員体制について検討されることが必要です。 ②年2回の自己評価や個人面談などの人事評価は行われていますが、人事考課は実施されていません。人材の能力開発・育成・公正な職員処遇、職員意欲を喚起するなど、客観的な基準に基づいた人事考課の取り組みを期待します。
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a · b · c	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a b · c	①担当職員が、職員の意向をもとに勤務表を作成、有給休暇取得状況などを定期的に確認しておられます。フリー、代替職員を配置し、年休取得に配慮しておられます。職員の健康状況の把握に努め、変わった様子があれば、面談をしたり、職員への聞き取りを行うなど改善する仕組みがあります。 ②米子市勤労者福祉サービスセンターに加入して、法人、園内で旅行、食事会など定期的に親睦行事を行うとともに、休憩室を整備してリフレッシュしやすい空間にしておられます。
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a b · c	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a b c	①基本方針や事業計画に研修への基本姿勢は明示されていますが、一人一人の職員の資質及び専門性の向上など具体的な育成方針の明示が望まれます。 ②職員の経験年数、立場、技術、本人意向をもとにした個人研修計画書を作成し、研修を行っておられますが、職員一人一人の人材育成目標、実施、評価などの具体的な取り組みが期待されます。 ③研修後は、研修報告を提出して職員会で報告等が行われていますが、個別の研修計画の評価・見直しとはなっていません。
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a b c	
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a · b c	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a b · c	①実習生受け入れマニュアルをもとに、担当職員を配置して、事前オリエンテーションを実施して職員の共通理解のもと実習内容の充実を図っておられます。

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a b · c	①事故発生時対応、感染症、病児対応、安全管理などのマニュアルをもとに体制を整備して、クラスごとにファイルを設置するとともに周知徹底のため園内研修を行っておられます。保護者への周知は入園のしおりで行っておられます。 ②災害時のマニュアルをもとに対応体制を決めて、各クラス、部署ごとに持出品などのリストを作成しておられます。消防署など関係機関と連携しての訓練が定期的に行われています。 ③遊具・施設安全点検の担当職員を決めて、点検を毎日行っておられます。ヒヤリハットマップの各クラスへの掲示や、ヒヤリハット記録簿の記入などが行われていますが、それらを生かした未然事故防止策の取り組みが望まれます。
II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a b · c	
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a b c	

Ⅱ-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	(a) b・c	①地域交流について事業計画に明示して、公民館活動への参加、地域老人会や小中学校との交流を行っておられます。地域運営協議会や地区人権推進連絡会に参加しておられます。 ②子育て支援センターと連携して地域のため園庭開放や見学、相談、中学校職場体験の受け入れ、地域関係機関へのパンフレット、園だよりの配布を行っておられます。関係機関と連携して、講演会などの子育て情報を文書配布や掲示などで地域に提供しておられます。 ③ボランティア受け入れは、担当者を決め、依頼があれば対応しておられますが、ボランティア受け入れマニュアルの整備が望まれます。
Ⅱ-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	(a) b・c	
Ⅱ-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b (c)	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	(a) b・c	①行政、医療機関、警察、小学校など関係機関の情報をリスト化して事務室に配置しておられます。保護者には関係機関のパンフレットを配布したり玄関に置いておられます。 ②小学校、医療機関との定期的な連絡会の開催や、要支援児の発達相談をはじめ児童相談所などと連携して、虐待防止、早期発見、保護者支援を行っておられます。中学校区人権推進協議会、公民館運営協議会に参加しておられます。
Ⅱ-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	(a) b・c	
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	(a) b・c	①子育て支援センターや公民館運営協議会、民生委員児童委員との連携や小学校との交流の中で、子育てニーズを把握しておられます。 ②延長保育や乳児保育の実施、子育て支援センターや地域への園庭開放、地域の子どもたちの行事への参加呼びかけをしておられますが、地域の福祉ニーズをもとにした事業計画が望まれます。
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a (b) c	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	(a) b・c	①基本姿勢を保育方針に明示しておられます。人権同和保育全体計画、年齢別年間計画をもとに保育実践を行っておられます。人権に関する研修会への参加、報告書回覧、職員会で共通理解を図っておられます。保護者へは人権啓発誌「たんぼぼ」を年3回配布しておられます。 ②プライバシー保護姿勢は、保育方針に明示しておられますが、プライバシー保護規程、マニュアル等の整備が望まれます。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b (c)	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c	①個別の意向調査や、年1～2回の懇談会、年2回の保育参加日、保護者役員会などで聞き取りが行われていますが、保育全般の満足度調査などの取り組みが望まれます。

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a (b) c	①玄関への意見箱の設置、登降園時や連絡帳など日々の保護者とのかかわりの中で信頼関係を築き、相談しやすい環境に努めておられます。相談窓口や相談方法などわかりやすく説明した文書の作成が望まれます。 ②苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、玄関に名前、連絡先を掲示しておられます。苦情内容、解決結果は法人の事業報告の中で公表したり、玄関に掲示しておられます。 ③苦情対応マニュアルを整備し、マニュアルに基づいて迅速に対応しておられます。苦情内容は職員間で対応して苦情処理簿に記録するとともに、年度末には苦情対応事例、対応方法などについて再検討しておられます。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a) b c	
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a) b c	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a (b) c	①年2回の自己評価や行事ごとにその都度検討会を行うなど担当職員を配置し自己評価を行う仕組みがありますが、第三者評価の受審は本年度初めて取り組まれました。 ②自己評価の検討会により、課題の明確化、今後について話し合っておられます。また、その結果は保護者総会の中で公表しておられます。改善策や改善実施計画の立案、実施を期待します。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行している。	a (b) c	
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) b c	①業務マニュアル、保育課程、発達表、年間計画に基づき保育を実施しておられます。日々の反省は、クラス内で話し合ったり、園長補佐がクラスに入って保育の状況を把握しておられます。 ②標準的な実施方法は本年度全職員で策定されました。今後、見直しは計画的に職員参画のもとで実施を予定しておられます。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b) c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b c	①児童票、月週日案、未満児個別記録、要支援児の個別記録を作成するとともに、職員間で書き方に差異が生じないように、記録要領を作成しておられます。各記録については園長、園長補佐、主担任が確認、指導しておられます。 ②書類管理の担当者を置き、管理場所、保存、廃棄、開示などに関する規定を定められておられます。 ③クラスの子どもの状況、気になる子についての話し合いを、年齢別にその年齢担当の全職員、園長、園長補佐で定期的に行っておられます。配慮が必要な子など全職員で情報を把握するため、伝達ボード・連絡ノートをはじめ、ファイルしていつでも確認できるようにしておられます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) b c	
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b c	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a • b • c	①ホームページで情報を提供したり、入園のしおり、パンフレットなどを作成しておられます。見学、相談に際して積極的に対応したり、パンフレットを配布しておられます。 ②米子市では、利用申込み、利用決定は米子市が行っています。利用開始にあたっては、入園のしおりで説明し、同意を得ておられます。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a • b • c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a • b • c	①転園に際しては、必要に応じて情報提供がされていますが、引継ぎ文書の作成が望まれます。卒園に際しては、小学校と連携、児童要録を渡しておられます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a • b • c	①家庭状況調査票、緊急連絡カード、乳児生活調査票など様式を定めて聞き取りなどによりニーズを把握をしておられますが、手順書の作成が望まれます。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a • b • c	①家庭状況をもとに、児童票を作成しておられます。子どもの実態に基づき年間計画、月案、週日案を作成し、相互の関連性を持たしておられます。 ②各計画ごとの自己評価と改善、計画の評価と見直しは組織的に未満児は毎月、以上児は3期毎など定期的に行っておられますが、手順書の作成が望まれます。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a • b • c	

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準－保育所版－)

※すべての評価項目（24項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 保育所保育の基本

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a・b・c	①保育課程は保育方針に基づき、発達過程を踏まえて編成しており、定期的に見直しを行っておられます。 ②子どもが触れるところは毎日消毒を行い、玩具の消毒も小まめに行っておられます。また、健康チェック表や連絡ノートで健康状態や家庭での様子を把握、登園時と午睡後の2回の検温やSIDSのチェックなどを行って、体調の変化に迅速に対応しておられます。 ③自我の育ちを大切にしながら見守り、個別指導計画を通して職員間の共通理解のもと、一人一人の欲求が満たされ、情緒が安定して、満足して過ごせるように配慮しておられます。 ④一人一人の個性を受け止め、子どもが安心して生活できるよう関わり、基本的な生活習慣が身に付くように、個々の発達に応じた援助に配慮しておられます。当番活動・菜園活動・異年齢活動等様々な経験を通して、集団の中で自分の力を発揮しながら友だちと協力する喜びを感じられるように取り組まれておられます。 ⑤年長児は就学を前に年2回個人懇談を行っておられます。就学に不安のある保護者の相談を個別に聞き、助言や小学校訪問に付き添うなど、必要に応じて対応しておられます。小学校との連携では、1年生の授業を見学したり、プール交流、5年生との交流、園だよりの配達、散歩などを通して就学への見通しへとつなげておられます。
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a・b・c	
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	①人的、物的環境のソフト面では子どもにとって心地よい環境づくりに配慮するとともに、衛生面の管理を徹底して行っておられます。 ②排泄面に関しては、個々の排尿間隔に合わせて誘いかけ、一人一人の育ちに応じた援助により、やってみようという働きかけられておられます。 ③子どもが自由に遊べるよう、発達や興味に即した玩具を準備し、取り出しやすい環境を整備しておられます。また、当番活動や菜園活動等役割を持った活動や異年齢交流を行っておられます。主体的協同的活動への働きかけを行っておられます。 ④地域に出かけて、畑や田んぼ、季節の自然に触れ親しめるよう取り組んでおられます。今後、公共機関の利用などの社会体験機会の取り組みとして、地域での買い物ツアーや消防署見学などの園外保育を計画しておられます。 ⑤日頃から絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れたり、月に1回読み聞かせサークルの方に来ていただいています。また、日々の保育の中で歌や手遊びに親しんだり、毎月講師を招いてのリトミックを行っておられます。
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	

A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	(a)・b・c	①日々の保育の中で、個人、クラス内などで自らの保育を振り返り、保育の改善に取り組んでおられます。定期的に自己評価を行い、確認することで園全体の保育の改善が図られています。

A-2 子どもの生活と発達

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	(a)・b・c	①一人一人の家庭環境や生活リズムを把握し、あるがままの姿を受け止めて子どもが抱えている課題について職員間で共通理解のもと援助を行っておられます。 ②障がいのある子ども一人一人に応じた保育ができるよう研修を受け、個別計画の立案や環境の工夫をしておられます。障害児保育について定期的に話し合う機会がありますが、パート職員への周知徹底が十分ではありません。保護者全体に対して情報を伝える取り組みは行われていません。 ③延長保育は7時までで夕食や軽食の提供はされず、お茶とおやつを用意しておられます。延長保育は畳の部屋を使って家庭的な雰囲気を大切に、ゆったりした環境づくりに配慮しておられます。
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・(b)・c	
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	(a)・b・c	
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	(a)・b・c	①子どもの健康管理はマニュアルをもとに、入園時の家庭状況調査票や聞き取りなどで把握し、看護師を中心に職員の共通理解のもと対応しておられます。健康チェック表、SIDSチェック表、視診、検温、触診などにより健康管理をしておられます。 ②発達にあった調理方法や体調に応じた細やかな対応など、一人一人が楽しく食事ができるような工夫をしておられます。 ③子どもの発達に合わせて、食べやすい切り方、味付け、盛り方の工夫をして可能な限り手作りしておられます。保育室で子どもと共食して喫食状況を把握しておられます。離乳食は初期・中期・後期の3段階ではなく、その間も保護者と相談して個々に応じた食材の切り方や硬さを工夫し提供しておられます。 ④内科検診、歯科検診、耳鼻科検診の結果を保護者に伝え、必要に応じて早期受診を勧めておられます。健診結果は記録に残しておられます。歯磨き状況を把握し、必要に応じて個別指導をしておられます。
A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a)・b・c	
A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食事が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(a)・b・c	
A-2-(2)-④ 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(a)・b・c	
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	(a)・b・c	①アレルギー疾患を持つ子どもに対して、指示書とアレルギーチェック表により保護者と連携して除去食を提供しておられます。アレルギー事故予防マニュアルを作成し職員周知を徹底しておられます。配食での誤食防止のため、食器の色やネームプレートを個別作成し、調理員と保育士が口頭で確認し合ってチェック表を記入しておられます。 ②調理室の衛生管理のためのマニュアルやチェック表を作成して問題があればその都度協議し、周知徹底をしておられます。
A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(a)・b・c	

A-3 保護者に対する支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a (b) c	①保護者による給食試食会などで、食育に関心を持ってもらうための働きかけをしておられます。しかし、家庭での食事の状況把握が十分でない所もあり、試食会の改善アンケートをもとに家庭の様子の把握を検討しておられます。
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(a) b c	②個別の相談や送迎時の際の対話や連絡ノートの記入などで保護者とのコミュニケーションをとって、必要な記録を残しておられます。
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a (b) c	③個人懇談、保育参加日など子どもの発達について保護者と共通理解を得るための機会を設けておられますが、参加できない保護者への対応改善を検討しておられます。また、クラス懇談など保護者同士の情報交換の場を設けておられません。
A-3-(1)-④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(a) b c	④研修に積極的に参加するとともに、虐待対応マニュアルをもとに早期発見に努めておられます。不適切な養育が疑われる場合には、保護者とのコミュニケーションにより精神面や生活面などの援助が行われ、必要な場合は関係機関と連携して対応しておられます。